

# 広島県医師連盟ニュース

2014.12.5  
第27号  
定価 1年400円  
(但し県医連会費に含む)

広島県医師連盟ニュース  
発行所  
広島県医師連盟  
〒733-8540  
住所 広島市西区観音本町1-1-1  
TEL 082(297)2525  
FAX 082(297)2535

## 第47回衆議院議員総選挙

・広島県医師連盟推薦候補者

12月14日(日)  
投開票

### 広島県医師連盟執行委員会

# 第47回衆議院議員総選挙 広島県医師連盟推薦候補者を決定

平成26年12月1日(月)午後8時、リーガロイヤルホテル広島において、表記執行委員会が開催された。開会に当たり平松恵一広島県医師連盟委員長は、「医師会、医師連盟が一致団結し、両団体が車の両輪として力を合わせ、国政、県政、国会議員、県議会議員などへの働きかけを通じ、われわれの主張する医療政策の実現を図って行きたい」と挨拶した。議題は、平成26年12月14日投開票の第47回衆議院議員総選挙における広島県医師連盟としての推薦候補者で、広島県7選挙区・比例代表中国ブロックの推薦候補者を決定した。

### 平松恵一委員長 挨拶

平成26年12月1日(月)午後8時00分  
リーガロイヤルホテル広島 3F 広島  
本日は、平日の夜遅くにも関わらず本執行委員会にご出席くださり誠にありがとうございます。開会にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。  
さて、ご承知のとおり、医療・介護を取り巻く環境は日々厳しさを増しつつあります。団塊の世代が、75歳以上となる、2025年問題や、国の借金が1千兆円を超える財政赤字の中で、社会保障をどのように確保していくかという問題、また、今回は見送られたものの消費税増税が予定されているなか、医療機関

における控除対象外消費税問題解決への対応や、公的医療保険の給付抑制につながる懸念のあるさまざまな保険外併用療養の拡大など、課題が山積しています。  
このような状況の中で、医師会、医師連盟が一致団結して、より強力に医療の現場から、国や地方の政治に対して、訴えていかなければなりません。  
この点で、政治に対して働きかける医師連盟と、学術団体に役割分担をした上で、密接に連携して行動していくことが求められています。それぞれが独立した組織構成でありませんが、医療界、医療人として、国民の健康を守るための医療政策を実現したいという思いは全く同じであります。  
両団体が車の両輪として力を合わせて、国政、県政、国会議員、県議会議員そして地方公共団体の長への働きかけを通じて、われわれの主張する医療政策の実現を図って行きたいと思っております。  
また、安倍首相の突然の解散宣言で、12月2日公示、12月14日投票となった第47回衆議院議員総選挙であります。先日、横倉日本医師会長が、今回の衆議院議員総選挙に際しての日本医師会の政策要望書を谷垣自由民主党幹事長に手渡ししております。要望書は本日の資料としておりますが、「国民皆保険を

### 小選挙区

選挙区・候補者氏名・所属政党・区分(前・元・新)

1区 岸田文雄 自由民主党 前

生年月日 1957年(昭和32年)7月29日(57歳)

出身大学 早稲田大学法学部

略歴 平成5年 第40回衆議院議員総選挙 初当選  
平成23年 自民党 国会対策委員長  
衆議院 環境委員会委員長  
沖繩及び北方に関する特別委員会委員  
政治倫理審査会委員

2区 平口洋 自由民主党 前

生年月日 1948年(昭和23年)8月1日(66歳)

出身大学 東京大学法学部

略歴 平成17年 第44回衆議院議員総選挙 初当選  
平成24年 第46回衆議院議員総選挙 当選(2回)  
衆議院 内閣委員会 理事  
災害対策特別委員会 理事  
法務大臣政務官  
平成26年 自民党 国土交通部会長代理

3区 河井克行 自由民主党 前

生年月日 1963年(昭和38年)3月11日(51歳)

出身大学 慶應義塾大学法学部政治学科

略歴 平成8年 第41回衆議院議員総選挙 初当選  
平成23年 衆議院 外務委員会 筆頭理事  
平成24年 自民党 副幹事長  
第46回衆議院議員総選挙 当選(5回)  
衆議院 外務委員会 委員長  
自民党 総務会副会長

4区 中川俊直 自由民主党 前

生年月日 1970年(昭和45年)4月25日(44歳)

出身大学 日本大学文学部社会学科

略歴 平成24年 第46回衆議院議員総選挙 初当選  
平成25年 衆議院 厚生労働委員会委員  
東日本大震災復興特別委員会委員  
自民党 党国際局長  
青年局長  
広島県第4選挙区支部長

### 選挙区・候補者氏名・所属政党・区分(前・元・新)

5区 寺田稔 自由民主党 前

生年月日 1958年(昭和33年)1月24日(56歳)

出身大学 東京大学、ハーバード大学大学院

略歴 平成16年 衆議院議員 初当選  
平成24年 内閣府副大臣 復興副大臣  
第46回衆議院議員総選挙 当選(3回)  
自民党 副幹事長  
平成25年 自民党 国会対策委員長  
平成26年 自民党 国会対策委員長

6区 亀井静香 無所属 前

生年月日 1936年(昭和11年)11月1日(78歳)

出身大学 東京大学経済学部

略歴 昭和54年 衆議院議員選挙 初当選  
平成24年 日本未来の党 入党  
第46回衆議院議員総選挙 当選(12回)  
みどりの風 入党  
みどりの風 解散

6区 小島敏文 自由民主党 前

生年月日 1950年(昭和25年)9月7日(64歳)

出身大学 大東文化大学経済学部

略歴 昭和55年 宮澤喜一衆議院議員秘書  
昭和58年 広島県議会議員初当選  
(以後7期連続当選)

7区 小林史明 自由民主党 前

生年月日 1983年(昭和58年)4月8日(31歳)

出身大学 上智大学理工学部

略歴 平成24年 第46回衆議院議員総選挙 初当選  
平成25年 自民党 青年局長  
平成26年 自民党 経済産業部会副会長  
総務部会副会長  
行政改革推進本部幹事

※6区は地元医師連盟支部の推薦を重視して2候補を推薦とする。

### 比例代表中国ブロック

新谷正義 自由民主党 前

生年月日 1975年(昭和50年)3月8日(39歳)

出身大学 広島県出身・医師(日本医師会会員)

略歴 平成13年 帝京大学医学部、東京大学経済学部  
平成24年 日本赤十字社医療センター1入局  
平成25年 第46回衆議院議員総選挙 初当選  
厚生労働委員会委員  
自民党青年局長

広島県医師連盟  
委員長 平松 恵一

政策協定書(案)

第四十七回衆議院議員総選挙において、〇〇〇〇候補と、広島県医師連盟委員長 平松恵一は次の内容について政策協定を締結する。

記

〇〇〇〇候補は、左記の政策協定事項を鋭意実現するものとする。また、広島県医師連盟は、〇〇〇〇候補者の当選に向けて一致団結して取り組みものとする。

政策協定事項

一、国民が住み慣れた地域で質の高い医療を受けられるよう、デフレ脱却による経済成長によって得られた税収は必ず社会保障の充実に充てる。

一、経済格差等により、受けられる医療・介護に格差が生じないよう万全の体制を講じる。その際、地域特性を十分に勘案して、県民が安心して医療・介護体制を構築する。

一、かかりつけ医を中心とした「切れ目のない医療・介護」を国民に提供し、地域包括ケアを推進する。

一、持続可能な社会保障制度とするため、「社会から支えられる側」であった高齢者が、「社会を支える側」になるよう健康寿命の延伸を目指す。

一、医療機関等における控除対象外消費税問題については抜本的解決を図る。その際、患者負担を増やさない制度に改善する。

一、TPP問題、規制緩和については、世界に冠たる国民皆保険を守るため、公的医療保険の給付範囲の縮小につながらないよう将来にわたって措置をする。

平成二十六年〇月〇日

〇〇〇〇党公認候補者 〇〇〇〇印  
広島県医師連盟委員長 平松 恵一 印

要望書

自由民主党幹事長 谷垣 禎一 殿

要望書

第四十七回衆議院議員総選挙に際し、日本医師会は、下記の事項について鋭意実現されることを要望する。

記

一、世界に冠たる我が国の国民皆保険を守ること。

一、住み慣れた地域において、国民が質の高い医療を受けられるよう、地域における必要な医療を確保すること。

一、かかりつけ医を中心とした「切れ目のない医療・介護」を国民に提供し、地成包括ケアを推進すること。

一、持続可能な社会保障制度とするため、「社会から支えられる側」であった高齢者が、「社会を支える側」になるよう健康寿命の延伸を目指すこと。

一、医療機関等における控除対象外消費税問題は、抜本的解決を図ること。

一、TPPや過度な規制緩和については、公的医療保険の給付範囲を縮小しないよう将来にわたって措置すること。

平成二十六年十一月二十一日

日本医師会会長 横倉 義武

広島県医師連盟役員名簿

Table listing board members and officers of the Hiroshima Prefecture Medical Association, including names, titles, and districts.

広島県医師連盟収支決算報告書(平成25年)

自 平成25年1月1日  
至 平成25年12月31日

Income and Expense Statement table with columns for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenses), listing various financial items and their amounts.

(※) 個人負担 21,000円 × 1,783名 = 37,443,000円

貸借対照表

(平成25年12月31日)

Balance Sheet table showing assets and liabilities, including current assets, capital, and net assets.